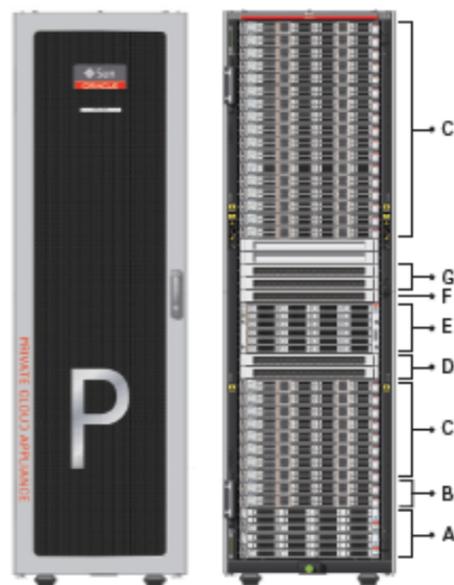


Oracle Private Cloud Applianceクイック・スタート・ガイド(パート1)



アプライアンスのコンポーネント

- A ZFS Storage Appliance コントローラ(2)
- B 管理ノード(2)
- C コンピュータ・ノード(最大25)
- D Cisco Nexus 9336C-FX2 リーフ/データ・スイッチ(2)
- E ZFS Storage Appliance ディスク・シェルフ
- F Cisco Nexus 9348GC-FXPスイッチ
- G Cisco Nexus 9336C-FX2 スパイン・スイッチ(2)

設置要件の確認

スペース要件

A 受入と開梱:

| | 輸送用パレットありの 梱包されたベース・ラック | フル搭載 ベース・ラック |
|-----|----------------------------|-------------------|
| 高さ | 2159mm (85インチ) | 2000mm (78.74インチ) |
| 幅 | 1219mm (48インチ) | 600mm (23.62インチ) |
| 奥行き | 1575mm (62インチ) | 1197mm (47.12インチ) |

B 保守作業用スペース:

| | アクセス要件 |
|------------|------------------|
| 背面メンテナンス | 914mm (36インチ) |
| 前面メンテナンス | 1232mm (48.5インチ) |
| 最上部メンテナンス | 914mm (36インチ) |
| サイド・パネルの取外 | 676mm (26.6インチ) |

注意: 輸送用の段ボールを取り外すのに十分なスペースを確保してください。荷降しに必要な最低限の奥行きは4.57m(15フィート)です。詳細は、梱包に含まれているOracle Rack Cabinet 1242スタート・ガイド(E85665)を参照してください。

C 設置場所への搬入経路:

| | 輸送用パレットあり | 輸送用パレットなし |
|-----------------------------|------------------|---------------------|
| 最低限のドアの高さ | 2184mm (86インチ) | 2000mm (78.74インチ) |
| 最低限のドアの幅 | 1220mm (48インチ) | 600mm (23.62インチ) |
| 最低限のエレベータの奥行き | 1575mm (62インチ) | 1058.2mm (41.66インチ) |
| 最大傾斜度 | 6度 | 6度 |
| 積載重量(エレベータ、 パレット・ジャッキ、床) | 1145kg (2520ポンド) | 1145kg (2520ポンド) |

データ・センター構成

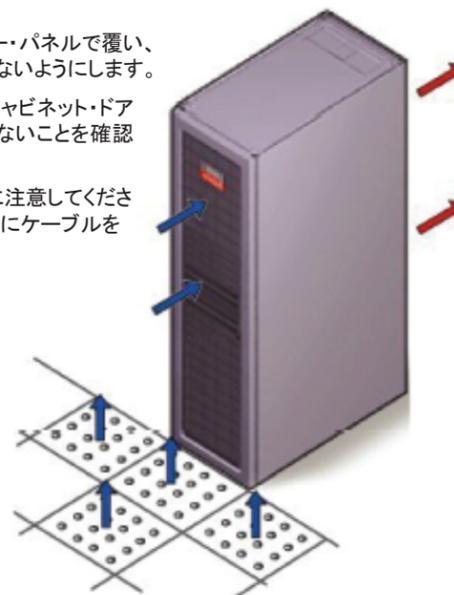
A 配電ユニット(PDU)を含むシステムの総重量1145kg (2520ポンド)を耐えられる上げ床の使用をお勧めします。

B 温度、湿度および高度:

| | 稼働要件 | 非稼働要件 | 最適条件 |
|------|-----------------------------|-------------------------------|---|
| 温度 | 摂氏5度から32度 (華氏41度から89.6度) | 摂氏-40度から68度 (華氏-40度から154度) | 摂氏21度から23度 (華氏69.8から73.4度) |
| 相対湿度 | 10から90% (非結露) | 最高93% | 45から50% (非結露) |
| 高度 | 最高 3000m (9840フィート) | 12000m (39370フィート) | 最高動作周囲温度は、海拔高度900mを超えると300mごとに摂氏1度ずつ低下します |

C 換気および冷却:

- 空調設備の能力が新しいシステム・ハードウェアに対して十分であることを確認します。
- 最適な通気のために、システムの前面と背面の保守作業用スペースに留意してください。吸気口は前面に、排気口は背面にあります。
- 冷気を取り込むため、ラックの前面に多孔フロア・タイル(約400CFM/タイル)を取り付けます。フル搭載ラックには4つのタイル、8~16のコンピュータ・ノードには3つのタイル、8つ以下のコンピュータ・ノードには1つのタイルを使用します。
- 空のラック・ユニットをフィルター・パネルで覆い、通気と冷却に悪影響を与えないようにします。
- 吸気口と排気口の両方のキャビネット・ドアなど、換気口が塞がれていないことを確認します。
- 排気が再循環されないように注意してください。排気を極力妨げないようにケーブルを管理します。



電源要件

各ラックには、事前に取り付けられた配電ユニット(PDU)が2つあります。PDUは様々な電源に対応しています。データ・センターに適したPDUのタイプを指定する必要があります。

- A 取り付けられたPDUがデータ・センターの電源(低電圧または高電圧で15、22または24kVA)に適していることを確認します。
 - B PDUの電源コードの長さは4m (13.1フィート)で、最大1.5m (4.9フィート)がラック・キャビネット内に配線されます。AC電源レセプタクルは、ラックの2m (6.6フィート)以内にある必要があります。
 - C PDUに電力を供給するすべての電力回路には、専用のACブレーカ・パネルを使用します。
 - D コンピュータ・ノードに電力を供給するすべての電力回路には、専用のACブレーカ・パネルを使用します。コンピュータ・ノードでは、電気回路を接地する必要があります。
- 注意: サーキット・ブレーカはお客様が用意します。各電源コードに1つのサーキット・ブレーカが必要です。
- E サーキット・ブレーカに加え、無停電電源装置(UPS)などの安定した電源を用意し、コンポーネント障害の可能性を低下させます。
 - F ラックには、接地タイプの電源コード(三線)が同梱されています。コードは必ず接地された電源出力に接続します。場所に適した接地方法を確認します。

ネットワーク要件

- A デフォルトのアップリンク構成は、交差パターンの合計4つの物理10GbE SFP+ケーブル接続で構成されています。2つのCisco Nexus 9336C-FX2スパイン・スイッチ(左上の画像の項目"G")それぞれで、ポート5/1および5/2が次のレベルのデータ・センター・スイッチのペアに接続されている**必要があります**。
- B Webブラウザを備えた端末またはワークステーションを管理ネットワークに接続する**必要があります**。
- C 次のネットワーク構成の詳細が必要です。

| | 記入欄 | 説明 |
|----------------|-----|--------------------------------------|
| ドメイン名 | | データ・センター・ネットワーク |
| リージョンとタイムゾーン | | システムが設置される場所とタイムゾーン |
| DNS IPアドレス | | 1から3個のドメイン・ネーム・サーバーのIPアドレス |
| NTPサーバーのIPアドレス | | ネットワーク・タイム・プロトコル・サーバーのIPアドレス |
| デフォルト・ゲートウェイ | | データ・センター・ネットワーク内のデフォルト・ゲートウェイのIPアドレス |
| 管理ノード1 | | データ・センター・ネットワーク内の第1管理ノードのIPアドレス |
| 管理ノード2 | | データ・センター・ネットワーク内の第2管理ノードのIPアドレス |
| 管理仮想IP | | マスター管理ノードにアクセスできるIPアドレス |
| 管理VLAN | | 管理ネットワークのVLAN ID (該当する場合) |

注意: 搭載されていないラック・ユニットを含め、すべての内部ラック接続は事前に配線されています。配線は決して変更しないでください。

Oracle Private Cloud Applianceクイック・スタート・ガイド(パート1)

1 設置場所を準備する

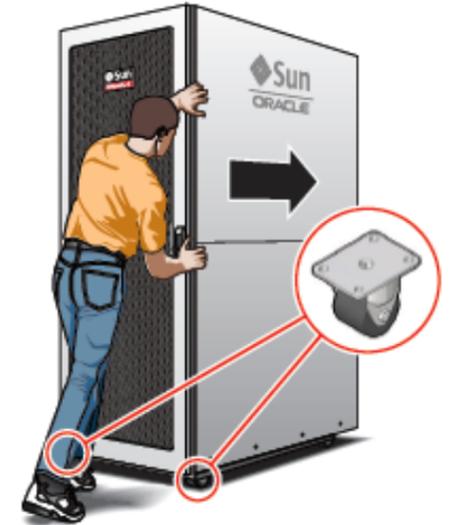
- A 安全ガイドラインを確認します。『Oracle Private Cloud Applianceインストール・ガイド』の安全ガイドラインの確認に関する項を参照してください。
- B Private Cloud Applianceを設置する場所を準備します。
- 設置の準備として、その場所を入念に清掃して掃除機をかけます。
 - 特別な機器を必要とする場所の問題や特性に注意してください。
 - スペース、床、電源装置および空調がすべての要件を満たしていることを確認します。(「設置要件の確認」を参照。)
 - 空調システムを48時間稼働させて、室内条件を適切なレベルにします。
 - 開梱と設置に必要な工具がすべて揃っていることを確認します。必要な工具のリストは、開梱と設置に必要な工具に関する項を参照してください。

- C Private Cloud Applianceを開梱します。
- 詳細は、Private Cloud Applianceの開梱時に、梱包に含まれているOracle Rack Cabinet 1242スタート・ガイド(E85665)を参照してください。
 - 現地の法令およびガイドラインに従って、梱包材を適切にリサイクルします。
 - ラックを輸送用パレットに固定するために使用した輸送用ブラケットを保管します。これらの輸送用ブラケットを使用して、ラックを設置場所の床に恒久的に固定できます(地震発生時にラックを支えたり固定するためではありません)。
 - ハードウェア構成がオーダーと一致していることを確認します。梱包の側面にある顧客情報シート(CIS)を参照してください。
- D Private Cloud Applianceを設置場所に移動します。
- ラックのドアが閉じていて固定されていることを確認します。
 - システムをラックの後部から設置場所まで押します。損傷を避けるため、穴あきパネルを押さないでください。
 - 後部キャスタを動かしてラックを進めます。前部キャスタは回転させません。

注意: ラックを移動する前に、4つの水平調節固定脚がすべて上がっており、邪魔にならないことを必ず確認します。

注意: フル搭載ベース・ラックの重量は1000kg (2204ポンド)です。3人以上で、各人が移動中のラックの経路をふさがないようにしながら、ラックを押して誘導することをお勧めします。

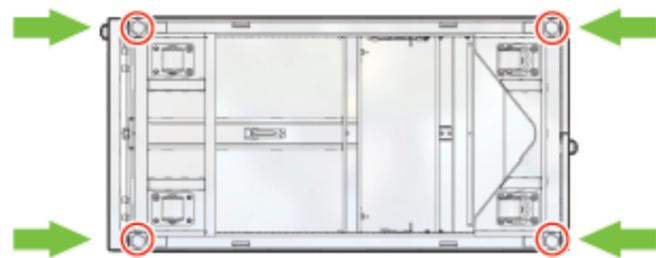
- E ラックが設置場所に着いたら、輸送中にコンポーネントや接続が外れたり、切り離されていないことを確認します。
- 必要に応じて、コンポーネントやケーブルを正しく取り付け直します。
- F 機器の電源を投入する前に少なくとも24時間、ラック・システムが環境に順応できるようにします。



割り当てられたスペースへのハードウェアの設置

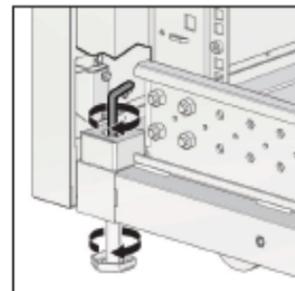
2 アプライアンスを固定する

- A ラックの下隅にある4つの水平調整脚を探します。

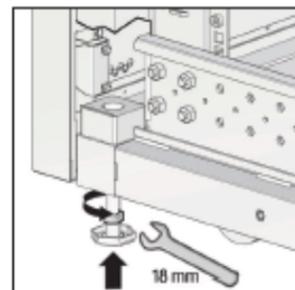


注意: ラックを移動する必要がある場合は、水平調整脚を完全に上げて邪魔にならないようにしてください。

警告: 輸送用ブラケットを使用してラックをデータセンターの床に取り付ける場合、これらの輸送用ブラケットは地震発生時にラックを支えたり固定する目的で使用するためのものではないことに注意してください。



- B 6mmの六角レンチを使用して水平調整脚を床まで下げます。

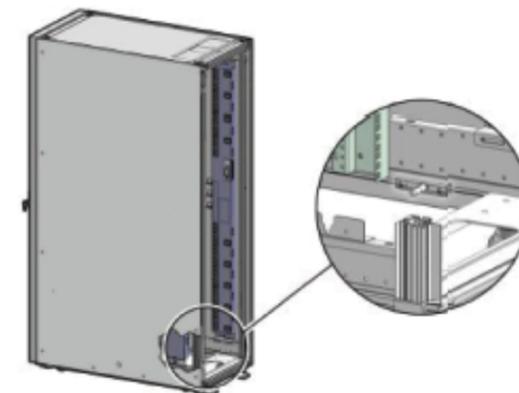


- C 18mmオープン・レンチを使用して水平調整脚を固定します。

キャスタと脚に負荷を分散して設置面積を増やし、安定性を向上させる必要があります。

3 接地ケーブルを接続する(オプション)

- A 接地ケーブルが接続ポイントと金属間接触していることを確認します。必要に応じて、塗装またはコーティングをはがします。
- B システム・フレームの背面下部にある接続ポイントの1つに接地ケーブルを接続します。



注意: シャーシの接地ケーブル(付属していません)を追加すると、漏電電流をより効率的に放散できます。

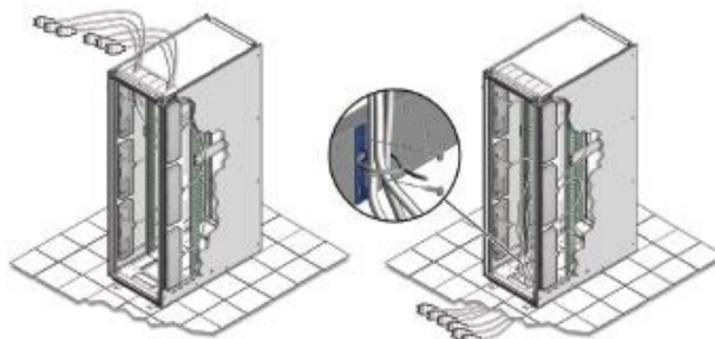
Oracle Private Cloud Applianceクイック・スタート・ガイド(パート2)

アプライアンスの初回の電源投入

4 アプライアンスを電源に接続する

- A 安全ガイドラインを確認します。
『Oracle Private Cloud Applianceインストール・ガイド』の安全ガイドラインの確認に関する項を参照してください。
- B アプライアンスを目視で点検します。
- ラックに損傷がないか、ネジが緩んでいたり抜けていないかを確認します。
 - ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。
 - 電源に適したコネクタ付きの電源ケーブルが用意されていることを確認します。
 - ケーブル・アクセスと通気について、フロア・タイルの配置を確認します。
 - 空気の流れがシステムの前面に向かっていていることを確認します。

- C 電源コードを接続します。
- 背面ドアを開きます。
 - 電源コードからケーブル・タイを取り外します。
 - 電源コードを、ラックの上部または底面から施設のレセプタクルに配線します。

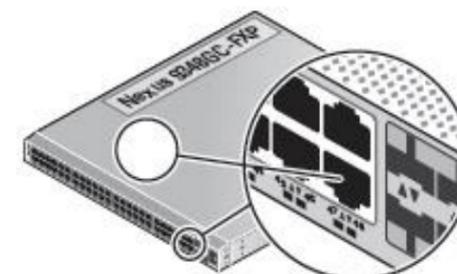


- 電源コードを束ねて固定します。
- 配電ユニット(PDU)の電源コードを施設のレセプタクルに差し込みます。

5 アプライアンスをネットワークに接続する

- A 各Cisco Nexus 9336C-FX2スパイン・スイッチで、ポート5/1および5/2を(次の層の) 10GbEデータ・センター・スイッチに相互接続します。

警告: これら4つの必要なケーブル接続を行うことができない場合は、次のステップに進まないでください。適切なデータ・センター接続がないと、プロビジョニングは失敗します。



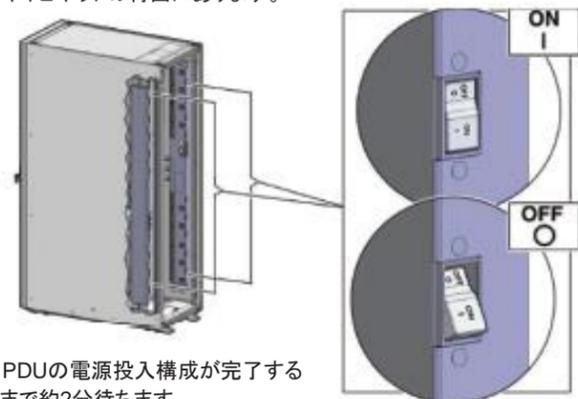
- B Cisco Nexus 9348GC-FXPスイッチのポート48に差し込まれたEthernetケーブルを使用して、Webブラウザを備えたワークステーションを管理ネットワークに直接接続します。

- C ワークステーションの有線ネットワーク接続を、IPアドレス192.168.4.254を使用するように構成します。

注意: 詳細なネットワーク構成オプションについては、『Oracle Private Cloud Appliance管理者ガイド』を参照してください。

6 アプライアンスの電源を投入する

- A ラック内のメインPDUの背面にあるすべてのPDUサーキット・ブレーカのスイッチを入れます。サーキット・ブレーカはシステム・キャビネットの背面にあります。



- B PDUの電源投入構成が完了するまで約2分待ちます。

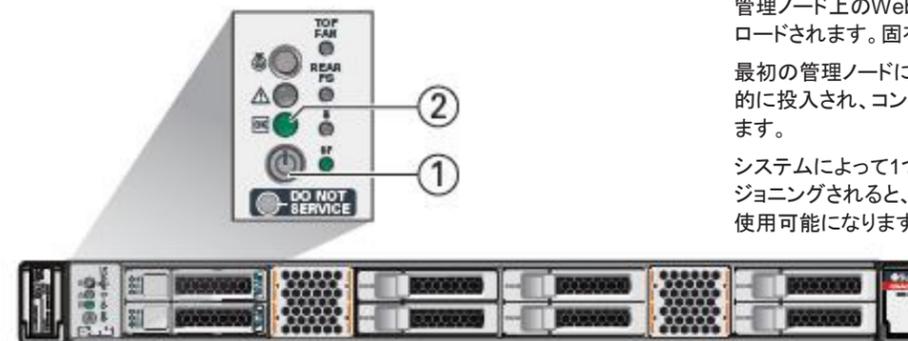
注意: 電源スイッチのないアプライアンス・インフラストラクチャ・コンポーネントは、PDUと一緒に電源が投入されます。

- C ZFS Storage Applianceディスク・シェルフのサーキット・ブレーカがオン("I")の位置にあることを確認します。



注意: 画像は、左側の電源装置のサーキット・ブレーカを示しています。右側の電源装置のサーキット・ブレーカもオンにする必要があります。

- D 最初の管理ノード(ラック・ユニット5)の前面にある電源ボタン(1)を押します。



- E 管理システムの電源が完全に投入されるまで約5分待ちます。完了すると、電源/OK LED (2)が点灯し、緑色に点灯したままになります。

- F ワークステーションで、Private Cloud Applianceダッシュボード(<https://192.168.4.216>)を参照します。

管理ノード上のWebサーバーが実行されるとすぐに、ページがロードされます。固有のリフレッシュ間隔があります。

最初の管理ノードにより、その他のコンポーネントの電源が自動的に投入され、コンピュータ・ノードのプロビジョニングが開始されます。

システムによって1つ以上のコンピュータ・ノードが検出されプロビジョニングされると、ハードウェア・ビューがWebインターフェイスで使用可能になります。

コンピュータ・ノードがプロビジョニングされると、ステータスが緑色になり、準備ができたことを示します。

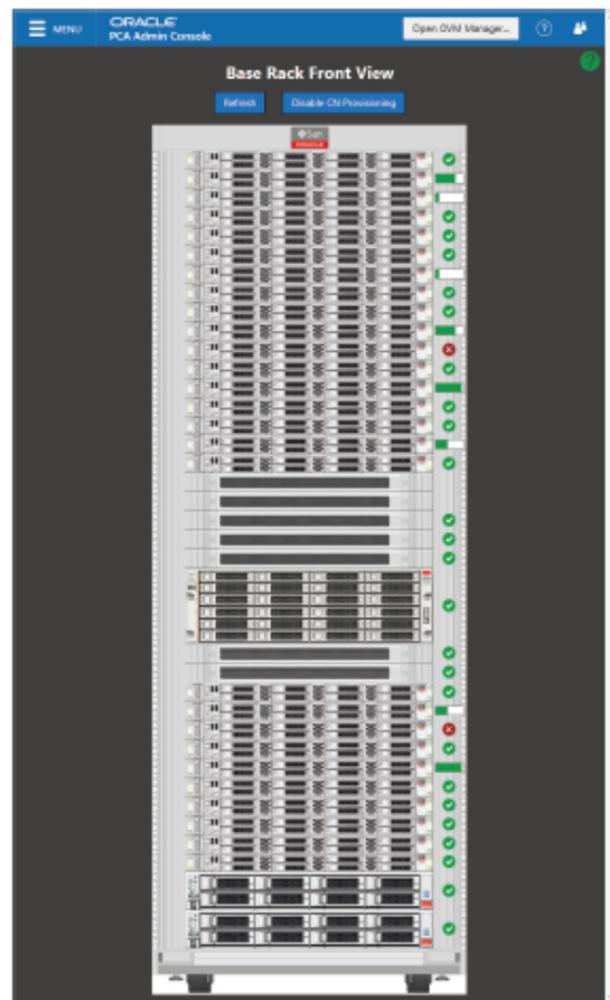
注意: 最初の管理ノードの電源が投入されてから約1時間後に、最初のコンピュータ・ノードのプロビジョニングが完了します。フル・ベース・ラックのプロビジョニングには最大5時間かかります。

Oracle Private Cloud Applianceクイック・スタート・ガイド(パート2)

アプライアンスの構成

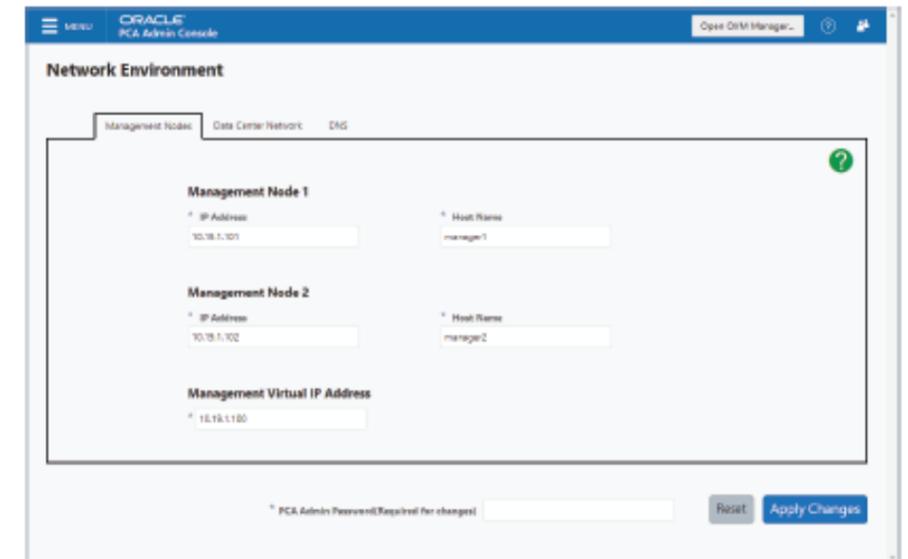
7 ダッシュボードにログインする

- ワークステーションのブラウザを使用して、Oracle Private Cloud Appliance ダッシュボード(<https://192.168.4.216>)に接続します。
- ダッシュボードにログインします。
デフォルトのユーザー名はadmin、パスワードはWelcome1です。
- ハードウェア・ビューを開きます。
すべてのコンポーネントが稼働中であり、すべてのコンピュート・ノードがプロビジョニング・プロセスを完了したことが表示されるまで待ちます。



8 システム・パラメータを構成する

- ダッシュボードを使用して、システムのネットワーク環境パラメータを構成します。
- 「Network Environment」ウィンドウを開き、デフォルトの構成をデータ・センターに必要な設定で置き換えます。この情報は、このクイック・スタート・ガイドの冒頭近くの「ネットワーク要件」で収集しています。
 - 「Management Nodes」タブで、両方の管理ノードについて予約済のIPアドレスおよびホスト名を入力します。また、管理ノード・クラスタの共有仮想IPアドレスも入力します。これにより、常にマスター・ロールで管理ノードに接続するようになります。
 - 「Data Center Network」タブで、管理ネットワーク・ドメイン名、ネットマスク、デフォルト・ゲートウェイおよびNTPサーバーを入力します。該当する場合は、管理VLAN IDを入力します。該当しない場合は、管理ネットワークVLANを選択しないでください。
 - 「DNS」タブで、最大3つのDNSサーバーを入力します。1エントリは必須です。
- 現在のアプライアンス・パスワードを入力し、「Apply Changes」をクリックします。ネットワークの再構成中、接続が一時的に失われます。
- 管理ノード・クラスタの新しい仮想IPアドレス(https://<virtual_ip>:7002/dashboard)で、Private Cloud Applianceダッシュボードに再接続します。
- 工場でインストールされたアプライアンス・ソフトウェアの更新が利用可能な場合は、My Oracle Support (<https://support.oracle.com>)からパッケージをダウンロードできます。『Oracle Private Cloud Appliance 管理者ガイド』の更新に関する項を参照してください。
- 構成プロセスを実行します。セキュリティ上の理由から、必ずデフォルトのパスワードを置換します。詳しい手順は、『Oracle Private Cloud Appliance 管理者ガイド』を参照してください。



9 今後について

その他のリソース

システムの安全な使用、保守、更新、拡張に関する詳細な手順および情報は、オンラインの製品ドキュメント・ライブラリを参照してください。

Oracle Help Center

最新の製品情報、ダウンロードおよびドキュメントについては、Oracle Private Cloud Applianceの製品ページにアクセスしてください。
URL: <http://www.oracle.com/technetwork/server-storage/private-cloud-appliance/>を入力するか、QRコードをスキャンします。

Oracleサポートへのアクセス

Oracleカスタマは、My Oracle Supportから電子サポートにアクセスできます。
詳細は、<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=info>
または<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=trs> (聴覚障害者向け)を参照してください。

注意: 登録済のハードウェアSIとソフトウェアSIがないと、オラクル社からソフトウェアを入手したり、サポートを受けることができません。



スキャンして製品概要に
アクセスしてください